

オオキンケイギクの一斉駆除活動と セイタカシギの探鳥会を実施しました！

2019年5月26日(日)午前9時30分から、西尾市(矢作川西尾緑地)と、碧南市(前浜町2丁目付近)の2か所の矢作川河川敷において、特定外来生物^{※1}に指定されている「オオキンケイギク」^{※2}の駆除活動を実施しました。

駆除活動は、碧南市側では5年目で、西尾市側では2年目の活動でした。当日は天気も良く、総勢65名が駆除活動に励みました。

活動には、企業、NPOだけでなく碧南高校科学部、ボランティア部の生徒らが多数参加し、地域の在来種を守るために、オオキンケイギクの駆除に積極的に取り組んでいただきました。参加した皆さんの精力的な駆除活動のおかげで、碧南市側だけで昨年より170kgも多い930kgものオオキンケイギクを駆除することができました。活動終了前にはオオキンケイギクで一面真っ黄色だった河川敷も、活動終了後にはその一部が緑色となり、参加者の方々は活動の成果を目で見て実感することができました。

また、この日の活動は新聞やテレビニュースで取り上げられ、広く一般の皆さんにも外来種問題を知っていただける機会を提供することができました。

駆除活動終了後には、西尾市一色町生田竹生新田の堤防にあるセイタカシギの営巣地に移動し、セイタカシギを観察しました。現場では本協議会の高橋副会長から、セイタカシギが貴重な渡り鳥であり、会場となった現場が国内有数のセイタカシギの繁殖地である旨の説明がありました。

今回、残念ながら探鳥会直前の大雨でセイタカシギの巣が流れてしまい、当日確認できる個体数は減ってしまいましたが、高橋副会長から大雨前の営巣の写真をパネルで見せていただき、そうした事象も含めて自然の営みである旨の説明がなされ、参加者は理解を深めることができました。

参加者は、西三河野鳥の会が用意してくださった望遠鏡や双眼鏡を通して、セイタカシギをじっくりと観察することができ、この貴重な営巣地を守っていくことの大切さについて学ぶことができました。

※1特定:特定外来生物

環境省ホームページ <https://www.env.go.jp/nature/intro/1law/outline.html>

※2:オオキンケイギク } 別紙をご覧ください
※3:セイタカシギ

No. 2 活動状況（実績報告書に添付）

写 真	内 容
	<p>行事名：オオキンケイギク 一斉駆除活動</p> <p>日時：令和元年5月26日 (日)</p> <p>場所：矢作川河川敷 (矢作川西尾緑地)</p> <p>参加者数：65名</p>
	<p>行事名：オオキンケイギク 一斉駆除活動</p> <p>日時：令和元年5月26日(日)</p> <p>場所：矢作川河川敷 (矢作川西尾緑地)</p> <p>参加者数：65名</p>
	<p>行事名：オオキンケイギク 一斉駆除活動</p> <p>日時：令和元年5月26日(日)</p> <p>場所：矢作川河川敷 (矢作川西尾緑地)</p> <p>参加者数：65名</p>

※ 太陽・自然の恵み学習事業については、植物の生育とそれを活かした環境学習の両方について記載すること。

No. 2-1. 活動状況（実績報告書に添付）

写 真	内 容
	<p>行事名：オオキンケイギク一斉駆除活動</p> <p>日時：令和元年5月26日(日)</p> <p>場所：矢作川河川敷 (碧南市前浜町付近)</p> <p>参加者数：65名</p>
	<p>行事名：オオキンケイギク一斉駆除活動</p> <p>日時：令和元年5月26日(日)</p> <p>場所：矢作川河川敷 (碧南市前浜町付近)</p> <p>参加者数：65名</p>
	<p>行事名：オオキンケイギク一斉駆除活動</p> <p>日時：令和元年5月26日(日)</p> <p>場所：矢作川河川敷 (碧南市前浜町付近)</p> <p>参加者数：65名</p>

※ 太陽・自然の恵み学習事業については、植物の生育とそれを活かした環境学習

No. 2 活動状況（実績報告書に添付）

写 真	内 容
	<p>行事名：セイタカシギ 探鳥会</p> <p>日時：令和元年5月26日（日）</p> <p>場所：矢作川河川敷 （西尾市一色町生田竹生新田海側堤防）</p> <p>参加者数：22名</p>
	<p>行事名：セイタカシギ 探鳥会</p> <p>日時：令和元年5月26日（日）</p> <p>場所：矢作川河川敷 （西尾市一色町生田竹生新田海側堤防）</p> <p>参加者数：22名</p>
	<p>行事名：セイタカシギ 探鳥会</p> <p>日時：令和元年5月26日（日）</p> <p>場所：矢作川河川敷 （西尾市一色町生田竹生新田海側堤防）</p> <p>参加者数：22名</p>

※ 太陽・自然の恵み学習事業については、植物の生育とそれを活かした環境学習の両方について記載すること。